

農林中央金庫の価値創造モデル

社会課題解決を通じた



豊かな自然環境と持続的発展を続ける農林水産業・地域

存在意義(パーパス)

持てるすべてを「いのち」に向けて。

～ステークホルダーのみなさまとともに、農林水産業をはぐくみ、豊かな食とくらしの未来をつくり、

経営資本 (インプット)

社会・関係資本

- 全国の農林水産業協同組合ネットワーク

約**1,209万人** 及びJA・JF・JForest 組合員 ※1
6,383店舗 全国津々浦々のJAバンク・JFマリンバンク店舗数 ※2
135台 農村・過疎地域の金融サービスを支えるJAバンクの移動店舗

知的資本

- 豊富な食農智と最先端の金融智

100年 農林水産業を金融で支えてきた歴史
21年 538のJAと32の信農連とともに構成するJAバンクの一体的運営
25年 いち早く取り組んでいる国際分散投資

人的資本

- 専門性の高い人材

271億円 従業員1人あたり総資産(単体)
3,365人 従業員数
125人 海外留学人数(=MBA/LLM取得者数)

財務資本

- 安定した財務基盤

94.5兆円 総資産
5.7兆円 純資産
A1/A Moody's / S&P 信用格付

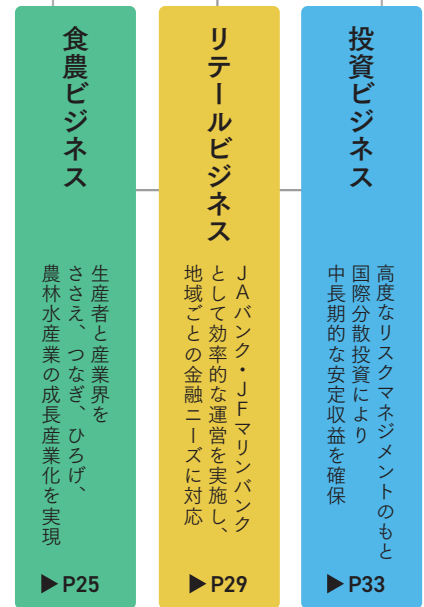
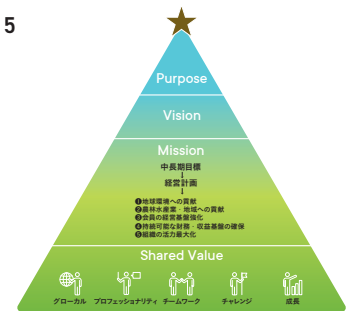
自然資本

- 電力使用量 39.9GWh (2021年度・当金庫分)
- 組合員・利用者の事業活動・くらしを支える豊かな自然環境

事業活動

サステナブル経営

▶ P15



活動内容・事業成果(アウトプット)は各ページ参照

コーポレート

3つの事業を支える機能の提供に加え
 イノベーションやダイバーシティなど
 新たな課題に取り組む

▶ P37

事業活動を支える基盤

企業価値の向上と

※1 JA組合員数は農林水産省令和3事業年度総合農協統計表、JF組合員数は農林水産省令和3年度水産業協同組合統計表(都道府県知事認可の水産業協同組合)、JForest組合員数は農林水産省令和3年度森林組合統計より引用しており、これらの数字を単純合計しているものです。
 ※2 2023年3月末現在の農林中央金庫・信農連・JA・信漁連・JFの内国為替取扱店舗数の合計。

環境・地域の価値向上

持続可能な地球環境に貢献していきます～

経営資本への影響（アウトカム） （2022年度実績）

社会・関係資本

- 地域就農・関係人口増による地域活性化につながる、農林水産業の成長産業化・農林水産業者所得増加の取組み

301件

J Aバンクによる担い手
コンサルティング
実施件数

4,315億円

J Aバンク農業融資
新規実行額
（長期）

累計694件

農林漁業・
食農関連企業への
出資件数

- J A 合併・店舗統廃合、広域信漁連発足（経営基盤強化）
- 全国 J A スマホ教室のべ約 42,000 人参加 ※ 2021 年度からの累計
- J A バンクアプリ 179 万ダウンロード突破

知的資本

- 国内外への食農ビジネスソリューション提供
- J A バンク・J F マリンバンクシステムの安定運営と高度化
- 国際分散投資の実践および資産運用グループ会社の機能強化

人的資本

- 女性管理者比率向上（7.6%）
- 職員エンゲージメントの醸成
- 現場力・収益力強化に向けた人員再配置（累計 650 人規模）
- DX 人材育成にかかる内部資格認定制度の創設（累計 73 人）
※ グループ会社含む

財務資本

- 投資ビジネス・食農ビジネスから得られる収益の会員への還元
約 3,000 億円
- 普通出資等 Tier1 比率 17.82%

自然資本

- GHG 排出量 19,849 t-CO₂（当金庫分）
※ 2021 年度の実績
- 投融資先 GHG 排出量（2020 年度）
融資（電力セクター）217g CO₂e/kwh
投資（株式・社債）0.55t CO₂e/ 百万円
- 会員と一体となった森林由来の CO₂ 吸収量（612 万 t-CO₂）
※ 2021 年度の実績
- TNFD タスクフォースメンバーへの参画および TNFD ベータ版
フレームワークを活用した投融資ポートフォリオ分析の実施

社会に提供する価値



協同組織との協働により地域社会・生活者・国土に提供する価値

農林水産業の
持続的発展、
成長産業化

安心・安全な
食料の
安定供給

農山漁村
地域の
生活基盤
の活性化

地域の
多様性保全

国土・海洋の
環境保全

農林水産業を
通じた経済の
発展

会員への収益の還元・金融機能の提供



各資本の充実